

運動会を盛り上げよう

○目標となる資質・能力

自治集団づくりに資する力、規律性、道徳性、セルフコントロール能力

○指導のねらい

- ・リーダーとしての意識を高める
- ・見通しを持って考える

○準備するもの

昨年の運動会の写真（または動画）、生徒の顔写真カード、ふせん、模造紙、色画用紙、マジック

○教育課程、実施時期

特別活動、運動会の1～2ヶ月前

○留意点など

展開例

	学習活動	指導上の留意点
この展開例は50分×2コマ続きで行うことを想定しています		
導入 20分	1 運動会を想起する 昨年の写真（または動画）を見て、運動会の流れを思い出す	・運動会を目前にし、リーダーとしての役割を考えさせる。
運動会を盛り上げよう		
展開 75分	2 運動会で必要な役割を考える ① 2人ペアで相談し、思いついたものをふせんに書く ② 書いたものを模造紙に貼りながら意見を出し合う ③ 必要、不必要な役割を精選する ④ 人数配分を行う ⑤ 人選を行う（写真カードを活用） 3 各班に分かれて具体的な内容を考える ・具体的な内容を考え、表に記入する 4 具体的な内容と目標を発表する	・2人ペアにすることで積極的に活動させる。 ・「〇〇（ダンス）の時に、〇〇する人（音楽をかける人）が必要だと思います」と活動と役割を言わせる。 ・共通しているもの、生徒の役割ではないものなど考えて、精選していく。 ・必要な人数と誰が適しているのかを考えさせる。 ・各役割班にわかれて、具体的な仕事内容を想起させ、時系列で考えさせる。聞き手に伝わるように、堂々と発表するよう促す
まとめ 5分	5 まとめ	・次時から具体的な準備へ移ることを伝え、リーダーとして主体的に活動するように伝える。

参考

◎高等部（知的障害、肢体不自由）での実施

高等部では様々な活動を通して、リーダーとしての役割を自覚させることを目指す。卒業後の社会生活を見通して、集団の中での自分の役割を考えたり、自分の思いを優先するのではなく周囲の友達を尊重することを考えさせたりする経験を積む。

○話し合い活動の進め方について

個々の発達段階や特性に応じたコミュニケーションの方法は様々であるが、社会生活の中で、自分の思いを相手に伝えることは重要である。他者とのコミュニケーションを図るために、様々な場面で「思いを伝える」場面を設定し、練習を進めていく。今回は、ペアになり、2人で話をしながら自分の考えを少しずつ引き出していくようにする。少しのつぶやきを、「それ、ええなあ」と拾いあい、「こんなも、あるんちゃう？」などと広がっていくことを目指す。2人の意見として自信を持って他のメンバーに向けて発表（ふせんを模造紙に貼りながら意見を言う）をする。その際、どちらかが代表で発表しても良いし、分担しても良い。互いの関わりも大切にする。

模造紙に貼られたふせんを見ながら、進行役が中心となって運動会に必要な役割として精選していく。その際、必要に応じて教師が支援しながら、進行役の生徒の負担が大きくなるように配慮する。

○役割分担（人選）について

その後の活動の進め方については、生徒の実態にもよるが、生徒の顔写真のカードを活用し、生徒が互いのことを考えながら適材適所に人選できるようにする。生徒が主体的に考えて進めるようにするが、教師は、個々の生徒の特性や役割内における危険事項等も考慮しながら支援していく。